

新型コロナウイルス感染急拡大に伴う市長緊急メッセージ

令和3年 8月 5日

1 沖縄県緊急共同メッセージ

沖縄県は7月以降の新型コロナウイルスの感染急拡大に伴い、8月1日に県、市長会、町村会、離島振興協議会、県医師会他、県内の経済会、商工業、観光業、飲食業組合の12団体が、全ての沖縄県民に対し連名で「沖縄県緊急共同メッセージ」を発表しました。

緊急共同メッセージには、県内の感染状況がとても深刻な状況であり、また海外諸国におけるロックダウン(都市封鎖)レベルにあるという認識のもと、「デルタ株の急増」、「若年層を中心とした感染拡大」から、「医療崩壊が現実のものとなりつつある」という危機感を訴えています。

併せて沖縄県民に対し、改めて「1.これからの2週間、外でも家の中でも集まらないでください。」、「2.他都道府県、離島を跨ぐ往来、帰省はやめてください。」、「3.感染対策の切り札のワクチンを積極的に接種してください。」との呼びかけが発表されました。

2 豊見城市の感染状況

豊見城市における感染状況も県全体と同様で、感染急拡大の傾向にあり、県内過去最多の602名の感染者が確認された8月4日は、豊見城市においても過去最多の33名の新規感染者が確認されています。内訳は感染者31名(94%)が40代以下であり、沖縄県の分析どおり、20代から40代の大人が会食、飲食を伴うイベント等で感染し、ウイルスを家庭内・職場内に拡げている状況があり、小・中学校の夏休み期間中にもかかわらず10歳未満、10代及び20代の感染者が占める比率も拡大しています。

一方、市が進めてきました高齢者へのワクチン接種については、確実に効果が表れており、同日の60代以上の感染者はありませんでした。

3 豊見城市としての対応

豊見城市においては、緊急共同メッセージを受け、特に、今月15日迄の2週間は、市内の感染拡大を防ぐため徹底した人流の抑制が必要であり、市民の皆様には、「日中も含めた不要不急の外出自粛」、「他都道府県、離島への往来の自粛」、また、市が案内をしている年齢階層の市民の皆様は「新型コロナワクチンの積極的な接種」をお願いします。

また、感染対策の切り札となるワクチン接種を円滑に進めるため、接種を担当していただいている市内クリニック及び医院の医療体制の逼迫を避けることが必要です。

家庭内・職場内において、マスクの着用、手指の消毒、小まめな手洗い、換気の実施等の公衆衛生的な予防手段を確実に実施していただくとともに、日々の健康観察において体調に異常を感じた場合は、早めに日中におけるクリニックの受診または県新型コロナウイルス感染症相談コールセンター(098-866-2129)へ相談をお願いします。

市民の皆様には、改めて感染予防を徹底していただくとともに、家庭内・職場内につつさない・拡げない感染対策を実践していただきますようお願いします。

市民一丸となって、このコロナ禍の難局を乗り越えていきましょう。

豊見城市長 山川 仁